時事新報

時事新報は一年三百六十五日一日も休刊無し

第二千四百五十八號　明治廿二年十月三十日　水曜日　舊暦巳丑十月七日（巳、卯）

日出午前六時四十七分　日入午後四時五十一分　月出午前十一時五十九分　月入午後九時十六分　潮干午前十時十六分　潮干午後十時十九分

（西暦一千八百八十九年）

時事新報定價

時事新報へ一年三百六十五日一日も休刊セズ其代價遞送料廣告料ハ左ノ如シ

一枚二錢〇一箇月前金五十錢〇三箇月前金一圓五十錢〇六箇月前金三圓〇一箇年前金六圓

〇時事新報社ヨリ直接ニ郵便ニテ遞送スルモノニ限リ右定價ノ外二箇月十五錢ノ遞送料ヲ申受ク

時事新報廣告料前金

	一日限	二日以上六日迄	七日以上
一行五號活字廿四字詰			
一行ニ付	十二錢	十一錢	十錢五厘

月曜日幷に大祭祝日の翌日等他新聞紙の休刊日ハ限り時事新報配達の求めに應ず此場合には新報代價一箇月前金八錢にして地方に郵送する分は此外に貼用する郵便印紙の代價を申受く可し

時事新報

米國政府の富困

米國財政の現狀は世界無雙の奇觀なりと云ふ可し他國の所謂財政困難あるものは年々の歲計その不足を告ぐるあ在れども之ふ反して米國の困難は國庫歲々充盈して其剩餘金の始末に困却するに在り同國新聞の報ずる所ふ依るに昨年の六月三十日に終る前年度の計算ふ剩餘金の額は二千三百九十二萬二千磅に下らず本年六月の終に至りては多少の減少を見しかども猶ほ二千百十六萬六千磅の多額なりしと云ふ今本年度（千八百八十八年より同八十九年に亘る）の歲出入の實際を前年度（千八百八十七年より同八十八年ふ亘る）に比較對照するに左の如し

歲入

	1888—9. 實際	1888—9. 豫算	1887—8	比較增減 1888-9年度ノ豫算ト	比較增減 前年度ト
	磅	磅	磅	磅	磅
關稅	45.000.000	43.400.000	43.818.000	+ 1.600.000	+ 1.182.000
內國稅	26.330.000	25.000.000	24.859.000	+ 1.330.000	+ 1.471.000
雜收入	6 390.000	7.000.000	7.176.000	— 610.000	— 786.000
總計	77.720.000	75.400.000	75.853.000	+ 2.320.000	+ 1.867 000

歲出

	磅	磅	磅	磅	磅
國費	17.590.000	18.000.000	14.842.000	— 410.000	+ 1.748.000
陸軍費	8.860.000	8.800.000	7.704.000	+ 60.000	+ 1.156 000
海軍費	4.300.000	4.200.000	3.385 000	+ 100.000	+ 915.000
官吏恩給費	17.600.000	15.400.000	16.057.000	+ 2.200.000	+ 1.543.000
諸債利子	8.210.000	8.200 000	8.943.000	+ 10.000	— 733.000
公債償還費					
總計	56.560.000	54 600 000	51.931.000	+ 1.960.000	+ 4.629.000
國庫剩餘金	21.160.000	20.800.000	23.922.000	+ 360.000	— 2.762.000

此表に就て見れば本年度の歲入は豫算に超過するみと二百三十二萬磅、前年度に超過するみと百八十六萬七千磅にして其實際は豫算より增加するみと百九十六萬磅又前年度より增加するみと四百六十二萬九千磅あり右の如く政府の歲入は年々非常の增加あるにも拘らず其歲出は二個の原因よりして更ふ一層の增加を致せり即ち其一は世間普通の例として歲入の增加する割合に歲出も亦多きを加へたると又その一は國中の保護稅涙が頻りふ政費增額の事を謀るが爲めに外ならず如何となれば同涙の人々は政費增額の手段に依て年々國庫に充積せる剩餘金を散ずるにあらざれば以て反對黨の海關稅輕減說に抗するみと能はざるを恐るればなり抑もみの剩餘金を朔理するの最好方便は租稅の輕減と云ふ中にも殊に關稅の輕減に在るみと勿論ふして既に保護稅の恩惠に浴する製造家中にも往々みの說をあすものあきみあらず蓋し米國の製造家は國內に於ては保護稅の爲めに利する所少なからざるにあらずと雖も其業の次第に發達すると共ふ內の需用のみふ滿足せず更に外に向て競爭を試みんとするに如何せん保護稅の爲めに製產費非常に高きよりして國外に於ては到底外品と競爭するの望おきよりして國稅輕減說は實業家中ふ贊成者も少おからざる模なれども國中全般の有樣を察すれば未だ兩三年に其實行を見る可しとも思はれず左れば租稅輕減の策は暫らく思ひ止まる事として扨て第二の手段は國庫の剩餘金はその充積する儘ふ任せて之を打捨て置くか又は政府が是迄ふし來りたる如く之を國債償還の一方に差向るかの二つに一つを取らざる可らざる次第なれども前策の行ふ可らざるは何人も知る所にして例へば今英國の政府が人民より徵收したる二千萬磅の金を英國銀行の金庫內に仕舞込みたりとするときは如何、英國市場の金融は大に逼迫して全國の商賣は之が爲めに非常の困難を被ふる事ならん然るに米國市場の流通貨幣は之を英國に比して其額、寡少なるが故に其の取締めたる金額は雙方同一なりとするも商賣上に及ぼす結果は彼是非常の相違あるみとなれば米國政府たるものは是非とも國庫の剩餘金を市場に散ずるの方法を講ぜざる可らず而して其方法は他おし今日の處にては唯その金を以て公債を償還するの一法あるに過ぎざるのみ聞く所ふ據れば昨年公債償還の爲めふ化拂ひたる金額は非常のものふして即ち剩餘金の總高は二千百十六萬磅なるに償還しさる公債の金高は二千七百八十萬磅の多きふ達したり而して其中三百六十萬磅は全く其利子の金高なれども政府にて始末ふ困難なるは即ち其利付のものあるが爲めにして其中の重なるものは四朱半の利にて千八百九十一年ふ償還す可きものと四分の利ふて千九百七年を期限とするものとふ二口なれども若しも政府の方にて今日唯今みれを償還せんとするには公債市場に於て時價を以て之を買上るの外ある可らず而して今ふの二口の現在額は左の如しと云ふ

四朱半利付	千八百九十一年期限	二十七百九十四萬磅
四朱利付	千九百七年期限	一億三千五百二十一萬八千磅

從來政府の方針は專ら四朱半利付の公債を償還するに在りと申されども今後ふても亦然るみとなれば然り而してみの二千八百萬磅足らずの金額を速く償却せんとするには其手段更に從前よりも困難なちざるを得ず蓋し二千八百萬磅の中、二千六十萬磅は發行紙幣の準備金として各銀行より政府に預けある分なれども其他は總て貯蓄銀行保險會社等の營業上是非とも公債證書を必要とする者の有にして又は裁判所に取押へらるゝものの或は財產保管人の手に歸して賣買す可らざるものも少なからず左れば政府の勝手に左右し得べき分は思ひの外に僅にして好しや各銀行より抵當として預る所の公債をば悉皆償還して爲めふ幾分か剩餘金を散ずるもの之と同時ふ銀行紙幣の流通額を減せざるを得ざるが故に市場の金融上に於てはす毫の損益あるみとなし又政府にては事宜に依れば四朱利付の方も償却するの意おらんおれども公債の所有者は政府の申出したる評價にては迚も肯んず可らず彼れ是れ推問答の末遂に破判不調となりて雙方ともに手を引くふも至る可し右の通りの次第にして政府が剩餘金を散ずる爲めに公債を買はんとするには非常の損耗を犯さゞるを得ざれば或は其事も中止となりて今秋おとは國庫中に金の充積するが爲め市場の金融は非常の逼迫を來すやも圖る可らずと云ふ米國財政の始末は何れふしても困難なりと云ふ可し但し其困難は貧困にはあらずして富困と稱す可きもの乎

雜報

○瑞寶章下賜　農商務省特許局長兼東京農林學校長高橋是清氏は一昨二十八日勅六等ふ敍し瑞寶章を賜りたりと

○渡邊理事　曩に兵庫外二縣へ出張せし御料局理事渡邊渡氏は去る二十五日歸京したるよし

○東京圖書館閉館　東京圖書館にては墨書幷ふ調査の爲め來月一日より凡そ十五日間閉館するよし

○醫德開業試驗及第者　芝愛宕町の同試驗場に於て執行せし同試驗の及第者は第二回の調査ふ依れば前期は第二百六十七號より第四百三十七號迄ふて五十名後期は第千四百號より第千五百九十五號迄ふて二十八名ありしと

○神奈川縣會　兼て配せし如く神奈川臨時縣會は昨日より横濱議事堂に於て開會し引續き通常會を開くよし

○鳥取市會　同市會議員の撰擧は去る十八日及び二十二十一日の三日同市歐片原町の異宗寺に於て執行せしが別段の事もなくして終結したれば今日當りには鳥取市會を開き市長以下の役員を撰擧する筈の由其候補者は先づ市長には宮崎貞藏氏、助役ふは渡七藏氏、收入役には河崎鱗藏氏ならんとの說もあり、市役所の廳舍は西町と指定されしが同所には適當の建物なきのみか位置も中央おらざれば本町と改むる方可ならんとの說をあすもの多し云々と同地よりの報

○四郡を整用すれば足を利用すべし　去る二十四日を以て開會したる臨時大阪府會の議案中市郡兩部ふ渉る聯帶費の事に就き長瀨の步合上兎角紛議の絕り來ぬるより該ふ市郡兩部の需量委員相會して篤と協議を凝しる事と決しいよ〳〵協議會を開きたる際市部の需量委員田口勝吉氏は郡部の需量委員に向ひ將其減くは勉考せられよ抑々今回の議案たる吾々市部の人民ふは利益あるものあり左ふも諸君が不幸ふして彼是紛正し難き點の點數を以て其利益の幾分を減殺せられんとせば御遠慮なく何とも致せ之なし之ふ對する負擔ふ堪へざる點ふ於ては市部の議員の數に於て閉會すれば時日經過して頭數を揃へ難き妙ならずや之ふ對する所なきを得ざる所斷行の止くは熟考の相談和組織に係し如く夫方の會員するや理夫より祝同好會萬に就き酒會せしは

○同好會萬組織に係し如く夫方の會員するや理夫より祝同好會萬に就き酒會せしは

○奧羽六名以下の集會を此程の紙委員目黑をなせし會の輔神上の事柄れば內閣るもの〳〵用のみと に依りて田縣の委の後にあ我々は新內閣の要するとあて他日の新條約案を請ふべ ずと主張 既に中止 ば兼早此 重に委員 田中孝 ことを說 平嶋氏の るとあ 氏を始め 館せしに あり各々 ○仙臺 せし如く